

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 27 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：新オレンジプランで求められる歯科医師の認知症対応能力向上のためのツール作成事業</p>
<p>2. 申請者名：小向井 英記、平山 隆浩、岡村 大、松本 太一、近山 成宣、上海道 範昭、岩崎 正一郎、馬場 雅渡、花岡 靖浩</p>
<p>3. 実施組織：奈良県歯科医師会高齢者歯科保健委員会</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>当事業は平成 27 年 1 月に公表された新オレンジプランの中で歯科医師に求められている①口腔にかかる機能の向上などの取り組みによる認知機能低下予防、②認知症の人を早期に発見して適切に対応する、かかりつけ機能の充実や医療介護連携体制の構築、③認知症の人の状況に応じた口腔機能管理の確立、を実践できる人材の育成を目的として、マニュアル、動画等の教育ツールを制作し、活用していくことを目的とした事業である。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>今回制作する教育ツールの媒体は、日本歯科医師会生涯研修ライブラリーに準じた DVD によるものとし、収録時間は 30 分程度とする。配布対象は、奈良県歯科医師会に所属の会員歯科医師とする。</p> <p>内容は、3 部構成とし、第 1 部で認知症総論を 10 分程度で、第 2 部で認知症各論として①歯科からの認知症予防、②認知症の早期発見と認知症患者への適切な対応、③認知症患者への状況に応じた歯科治療、口腔ケアによる口腔機能管理、の 3 項目について 10 分程度で、両者とも講義形式とする。最後に、第 3 部として、歯科治療や口腔ケアを施行する際の対応困難事例数例について、実際の場면을動画により再現し、それに解説を同時進行で加えた 10 分程度のものとする。</p> <p>DVD 制作において、企画・構成は奈良県歯科医師会高齢者歯科保健委員会で担当し、大阪歯科大学高齢者歯科学講座の協力を得る。撮影、完成、納品に関しては、原則専門業者に依頼する。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>今後は、会員に配布した DVD を活用して、歯科医師を中心とした歯科医療職が認知症に対応ができる実務能力をいかに養っていくかが課題である。</p> <p>認知症に関しては多職種が協力しながら対応していくべき疾患であることから、当 DVD を歯科医療職の教育ツールのみならず、多職種連携のための情報共有ツールとして活用することも考えられる。</p> <p>具体的な方策としては、まず最初に会員向けに当 DVD の活用方法についての講習会を開催してベーシックコースと位置付け、認知症の対応についての興味と知識を持ってもらった上で、アドバンスコースとして介護老人福祉施設、介護老人保健施設、グループホームなどで実際の認知症患者の方で実務研修を行って、実際の臨床の現場で役に立つ認知症対応能力の向上を図る必要があると考える。そして、認知症患者の方の歯科治療や口腔ケアの臨床で活躍できる多くの人材の育成が望まれる。また、更に歯科的な立場から認知症ケアや認知症予防について他職種にアドバイスできるレベルの技能向上に努めていきたいと考える。</p>